

【しなのきプラン29】

目指す人間像

グローバルな視野を持ちながら、ローカルに逞しく生きる自立した18歳



【学校目標】

豊かに感じ  
たくましく生きぬく  
大岡の子ども

学校目標のとらえ Plan

- 人のことでも自分のことのように感じられる子ども
- 人・もの・こととの豊かな関係を積極的に求める子ども

保護者・地域の願い

- 基礎学力をつけてほしい。
- 毎日、楽しく元気に行きたくなる学校。
- 地域の人とふれあい、明るさ、元気を与えてくれる子ども。

児童の実態

- 明るく、素直で人なつっこい。
- 大根や米づくり、行事の準備や片づけ、PTA 作業の手伝いなど体を動かしよく働く。
- ・ その場に応じた適切な言葉づかいや行動が苦手。
- ・ 聞く力と記述力が課題。

教育推進4つの柱 「かしこく、やさしく、たくましく、ふれあう」 Do Action

自ら進んで学ぶ子ども（かしこく）

- よく聴き、考えて関わりあう授業づくり
  - ・ 教師主導型の授業から、グループ活動、連学年学習を取り入れた教え合い、学び合う授業へ。
- 学習指導の改善とつける力の定着状況の評価検証
  - ・ 一人1公開、教材研究の充実、ICT の利用、研修・研究会を参加型に企画・工夫する。
  - ・ NRT、全国学力学習状況調査を分析し、朝のドリル、放課後のパワーアップの時間で補完・補充、個別指導。
  - ・ 「家庭学習の手引き」を利用し、「家で予習・復習をしている」児童の割合を前年度より増やしていく。

よく遊び、粘り強くやりぬく子ども（たくましく）

- 五感と心を働かせた体験活動の充実
  - ・ いっぱい遊ぼう集会（児童会）や縦割り班活動での楽しい遊びを通し、子ども同士の教え学び合う関係づくり。
  - ・ 四季の変化を肌で感じ、全身で自然に触れる活動の工夫。（生活科・若杉の時間で学習、わらわらくらぶとの連携、大学生との交流）
- 課題や目標を設定し、やり抜く活動の設定
  - ・ 学期始め、運動会や音楽会、マラソン大会等の行事において、自分の課題や目標をもち、その実現に向けて粘り強く取り組む。

思いやりのある優しい子ども（やさしく）

- 縦割り活動、異学年交流の充実
  - ・ 気持ちのよいあいさつで、心と心を通い合わせる。
  - ・ 縦割り班活動、なかよし旬間、お花見（くじ引き）給食、仲良し読書・清掃など異学年交流の充実。
- いじめ・不登校対策の推進
  - ・ 児童アンケート、個別相談の時間の確保、しなのきアンケートの実施、人権教育の推進。

大岡の人やものにふれる子ども（ふれあう）

- 信州型コミュニティスクールの推進
  - ・ 「運動会」など地域と連携する教育活動を実施。
  - ・ 保護者、地域の方、大学生と全校児童による「大根プロジェクト2017」（畝作り、種まき、収穫、出荷、販売、収穫祭、お礼の会）の実施。
- 地域の方に学び、ふれあう活動・交流の場
  - ・ 達人に学ぶクラブ活動 ・ 読み聞かせ
  - ・ 芦ノ尻、樺内、宮平のおしゃべりサロンとの交流
  - ・ 森林体験学習（みどりの少年団）
- 小中連携プランをもとに、小中職員合同研修や出前授業を実施し、小中の接続のあり方を検討・改善する。（キャリア教育）

研究テーマ 「対象や友と関わりあいながら、思考し表現できる、活動的な学びのあり方」  
～児童の実態に対応した授業作りと学習集団作りを通して～

【授業改善を進めるための重点的な取り組み】

- ・ 誰にもわかりやすく、安心して参加できる教育環境や学習のルール（授業のユニバーサルデザイン化）をつくるとともに、個々の子どもの困り感や教育的にニーズに寄り添った授業、学級づくりに取り組む。
  - ・ 授業に言語活動（聞く、話す、書く）を位置づけ、学年の発達段階に応じた思考・表現力の向上を図る。
- 【教職員の指導力向上に向けた校内外研修】
- ・ 重点研究会や連学年会においてミニ研修会を位置づけ、教材研究や児童理解を深めることを日常化する。

○ 児童一人一人の居場所があり、互いを認め合える学級づくり

- ・ ユニバーサルデザインに基づく学級経営案を構想し、ソーシャルスキルトレーニングなども取り入れながら、互いを認め、励まし合える関係づくりと個別支援に努める。（特別支援教育・道徳・人権教育）
- ・ 教育相談とアンケートを定期的実施し、問題の早期発見・対応に努める。（生徒指導）

学校評価 Check

- ・ 学校評議員会・輝くひじりの会からの意見（年2回）
- ・ 地域、保護者からの意見、アンケートの実施
- ・ 児童による授業評価の実施